

One for Children. All for Children

久我山青光学園

学園便り 1月号

校長 宮田 守

令和7年12月25日発行

来年もよろしく願いいたします。

校長 宮田 守

先日、今年度から栽培に取り組み始めた「大根」の収穫がありました。当日の12月16日は、風もそれほど強くなく、お日様も出ていて、冬晴れの「収穫日和」の一日でした。JA東京中央の方に御協力いただき、すくすく育った大根は、みんなの努力のかいもあり、多少小ぶりのものもあったのですが、「真っ白」で、そのまま、かじりたくなるくらい美味しそうに育っていました。収穫の様子を私も見学に行ったのですが、作業をしている中学部の皆さんもニコニコしながら大根を収穫していました。採れた大根は、中学部の生徒の皆さんが、きれいに洗い、食堂の前で待っていた栄養士さんに納入！立派に育った大根は、次の日の給食の「みぞれ汁」の材料になりました。「みんな、おいしかった。」と言っていました。来年、どんな野菜を作るか、そして、それをどんなふうに活用するかは、これからみんなで話し合って決めます。JA東京中央さんとの連携は、これからも続けていく予定ですので、楽しみにしていただければと思います。この授業の様子を、PTA広報班の方も取材に来ていたので、広報誌にも記事が掲載されます。こちらにも楽しみにしててください。

さて、昨年度から視覚障害教育部門と知的障害教育部門が合同で開催している久我山青光フェスタの様子も、本「学園便り」には掲載しています。また、12月13日にはビデオ出演ではありますが、本校両部門の中学二年生が「鳥山みんなのクリスマス音楽祭」にも出演しました。様々な事情から、昔のようにはできなくなったこともたくさんありますが、そのような中でも、この施設、この地域だからこそできることもたくさんあり、今年もいろいろなことに挑戦してきました。保護者の皆さんはもちろんのこと、地域にも支えられながら、令和8年もチャレンジしていきます。来年もよろしく願いいたします。

視覚障害教育部門 全校行事・広報部
教諭 山田和歌奈

11月28日（金）、29日（土）の二日間、今年度も両部門合同で久我山青光フェスタを行いました。

舞台発表では、幼稚部は「さつまのおいも」、小学部低学年は「16 びきのやぎのがらがらどん」、小学部高学年は「エルマーのぼうけん」、中学部は「不滅の刃～Challenging Spirit～」を発表しました。どの発表も、子供たちの日頃の学習の成果が発揮され、一人一人が活躍した発表となりました。まさに今年度の久我山青光フェスタのスローガンである「みんなで一丸となっかがやこう くがやま青光フェスタ」にふさわしいものとなりました。また、作品展示は、知的障害教育部門棟ホールで行いました。テーブルの上だけではなく、壁いっぱいにも掲示されたたくさんの作品には、子供たちも思わず息をのむほどでした。視覚障害教育部門の子供たちのために、実際に手に取って触ることができる作品も多数用意されており、子供たちは作品の素材や構造を触って確かめながら、楽しんで鑑賞することができました。

当日は保護者の皆様に多数御来校いただき、また、行事の実施にあたりたくさんの御協力をいただきました。ありがとうございました。

知的障害教育部門 全校行事・広報部
主任教諭 三浦園華

今年度は11月28日（金）、29日（土）の二日間に渡って両部門合同で行われた久我山青光フェスタ。

予行では感染症予防のため体育館での鑑賞は行わず、Teams でオンライン配信し、各教室でそれぞれの舞台発表を鑑賞しました。また、知的障害教育部門棟ホールでは全校幼児・児童・生徒の作品展示をしました。普段は体育や休み時間に使っているホールが、まるで美術館のようになり、色とりどりで個性あふれる作品に、子供たちも感心してよく観たり、触れる作品を触って作品を確かめたりしていました。

フェスタ当日は、多くの保護者の皆様が来校され、たくさんの声援の中で、全学年、全団体、練習の成果を十分に発揮できた舞台発表を行うことができました。開会式、閉会式では、両部門から代表の児童・生徒に開会宣言や感想を発表してもらいました。普段、両部門での交流はなかなかないので、お互いの存在を改めて意識することができた良い機会となりました。

当日は、誘導や警備などでPTAの役員の皆様にも、たくさんの御協力いただきました。ありがとうございました。